

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	社会福祉法人淀福社会 よど保育園	施設 種別	保育所
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会		

令和 4 年 3 月 2 3 日

総 評	<p>2019年4月より、京都市営保育所を社会福祉法人淀福社会が引き継ぎ、「よど保育園」として新たなスタートを切りました。京阪「淀駅」から徒歩8分の立地の良さと、地域との関係を深く結んでいる法人の歴史に支えられ、多くの利用者や地域の方々との関係を築いています。</p> <p>五感を十分に使って遊ぶことで育まれる興味や関心が、さらなる意欲につながり、想像力や創意工夫する力につながると、保育目標にも含まれる「体験を通じた豊かな想像、創造する力を育てる」保育実践に努めています。日々の活動を、ドキュメンテーションや子どもたちの作品を園内の随所に飾ることで保護者へ伝え、生きた報告を行っています。</p> <p>伏見区のはぐくみ室や近隣の保育園、民生委員などと連動し、子育て支援事業の運営や企画を行っています。自園での園庭開放や育児相談、フリースペースの解放など、地域の子育て拠点としての役割を公立から引き継ぎつつ、歴史ある法人としてのスケールメリットや関係性を活かすことで、さらなる地域への貢献を志しています。</p>
特に良かった点 (※)	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の保育園や行政（はぐくみ室）、民生委員の方などと連携し、定期的に「げんきっずひろば」「子育て講演」「地域クリスマス会」などの子育て支援事業に参画したり、地域の高齢者の会が実施する催しに参加するなど、コロナ禍以前から地域の福祉活動に積極的に参画しています。コロナ禍が収まりつつある現在、これらの催しを復活させる活動に取り組んでいます。 ・「言葉を手渡す」を大切にし、子どもの思いを中心に保育をしています。結果だけでなく、ものごとの過程に重きを置くよう努めています。 ・給食の食材やその産地を紹介するなど、子どもの興味関心につながる工夫がなされています。給食の職員が食に関する話をしたり、クッキング保育も行っており、秋の味覚パーティは地域の交流の場にもなっています。

<p>特に改善が 望まれる点(※)</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 法人本部との役員会や三者協議会などで協議され、当面の方針やプランニングを行っていますが、長期的な視座での具体的な手法や課題を明確化した中・長期計画として策定がされていません。具体的な数値や収支目標を定めた中・長期計画を策定し、行事計画だけでなく、それらを基盤とした単年度の事業計画を策定するとより良いでしょう。・ 民間移管に伴い、以前からの利用者に不安が無いようベテランの保育士を多く配置したり、公立の際の人事配置と新たな考えを融和させて、より丁寧で手厚くなるような人員の配置を工夫しています。今後、新規職員の確保や定着に向けて、期待する職員像や、必要になってくるであろう人材の確保等、計画の明確化を行い、組織的・計画的に人事管理を行うとより良いでしょう。・ 各クラス複数担任で保育を行い、その中で保育を実地で伝えるOJT環境が整えられています。積み重ねてきた経験や民営化前の保育の実施方法などを文書化し、保育についての標準的な実施方法についてマニュアルを整備されれば、より良いでしょう。また、マニュアルの動画化など、より伝わりやすい手法を取り入れると良いでしょう。
---------------------------	---

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】 評価結果対比シート

(注)判断基準「a b c」について

【平成28年度以前の基準とは異なるため、当評価結果との対比はできませんのでご留意下さい】

(a)は質の向上を目指す際の目安となる状態、(b)は多くの施設・事業所の状態、(c)はb以上の取り組みとなることを期待する状態、に改定されました。改訂後の評価基準に基づいた評価では(b)が一般的な取り組み水準となり、従前に比べて(b)の対象範囲が広がります。また、改正前に(a)であった評価項目が改正後の再受診で(a)を得られなくなる可能性もあります。

受診施設名	社会福祉法人淀福社会 よど保育園
施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会
訪問調査日	令和4年3月23日

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b	a
[自由記述欄]					
<p>・保育理念・基本方針は、園生活のしおりや重要事項説明書等に明文化されており、入園時に各保護者へ配布し、自由に閲覧できるよう園の玄関にも常設しています。また職員会議や職員研修で職員への周知が行われています。インターネット上の園紹介のサイトにも掲載されており、今後自園のホームページも開設を予定しています。</p>					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	a
		3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	a
[自由記述欄]					
<p>・伏見区の保健福祉センター子どもはぐくみ室や児童館、地域の保育園、民生委員などが集まる「げんきっず広場会議」を2ヶ月に1度行い、地域の福祉ニーズや福祉動向に関して情報を収集し、分析しています。</p> <p>・法人本部の役員会を年間4回行い、地域に根差している役員の方々との協議を行いつつ、地域に応じた事業経営が行えるよう分析を行っています。また、京都市からの民間移管に伴い、年3回実施されている三者協議会（京都市・保護者代表・法人）で具体的な課題や要望を確認し、具体的な取り組みや構想につなげています。</p>					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	c	c
		5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	c	c
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	c
		7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b	c
[自由記述欄]					
<p>・法人本部との役員会や三者協議会などで協議され、当面の方針やプランニングを行っていますが、長期的な視座での具体的な手法や課題を明確化した中・長期計画として策定がされていません。具体的な数値や収支目標を定めた中・長期計画を策定し、行事計画だけでなくそれらを基盤とした単年度の事業計画を策定するとより良いでしょう。</p> <p>・年間の行事計画においては、職員会議等で意見を募り、内容を吟味して計画を策定されていますが、事業計画は策定されていません。行事計画同様に職員の意見を集約し、事業計画に反映、策定し、定期的な見直しが行われるような仕組みを構築されるとより良いでしょう。</p>					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	b
		9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a	a
[自由記述欄]					
<p>・第三者評価の受診は今回が初めてとなります。室長会議（リーダー会議）を毎週月曜に行い、1週間の予定と保育内容の確認を行っています。また、週間の指導計画の中で保育内容の評価・反省を毎月行い、月1回の職員会議の中で、より質の高い保育内容になるよう見直しを行っています。改善を行った内容をより短いスパンで定期的に見直し、データの分析を行いながら記録として残しつつ、保育内容に還元するとより良いでしょう。</p>					

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-1 管理者の責任とリーダーシップ	II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b	b
		11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b	b
	II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	12	① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a	a
		13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b	b

[自由記述欄]

・施設長は、遵守すべき法令等について把握し、職員への周知、実施に取り組んでいます。職務分担表などを作成し、自らの役割や責務を明文化するとともに、園だよりや入所説明会などを通じて、自らの役割を、保育を利用している保護者や希望者に対しても周知するような取り組みを行うとより良いでしょう。

・行政の研修や園長会などで得た法令等の情報や、現場の職員から収集した施設環境改善や業務効率化につながるような提案を検討しつつ、民営化における取り決めの中で、可能な限り業務省力化等の改善を行っています。園児管理システムの導入などICT化も徐々に進めています。導入したものの機能を理解し、現状に即した使用方法を提示できるよう、研修等で理解を深めるとより良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b	b
		15	② 総合的な人事管理が行われている。	a	b
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b	b

[自由記述欄]

・民間移管に伴い、以前からの利用者に不安が無いようベテランの保育士を多く配置したり、公立の際の人事配置と新たな考えを融和させて、より丁寧で手厚くなるような人員の配置を工夫しています。今後、新規職員の確保や定着に向けて、期待する職員像や、必要になってくるであろう人材の確保等、計画の明確化を行い、組織的・計画的に人事管理を行うとより良いでしょう。

・施設長との年2回の面談を行い、働き方の意向や困り感の聴き取りを行っています。また、園管理システムを導入するなど業務省力化に努めています。ワークライフバランスを考えた配慮を個人と相談して行っていますが、そういった内容を明文化し組織的な仕組みにつなげればより良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b	b
		18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b	b
		19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b	b
	II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	b

[自由記述欄]

・職員一人一人が前年度の反省や今年度の抱負をまとめた「決意と抱負」を作成し、それを基に管理職が職員の向かいたい方向性を確認して、研修計画などを作成します。また、年2回の園長との面談の中で「決意と抱負」の進捗や反省、見直しを行います。年度末の面談で達成度や次年度への課題の指導を行える仕組みを構築できれば、より良いでしょう。

・年間の研修計画は策定していますが、個別の研修計画は作成されていませんでした。職員の思いと園の方針に準じた個々の将来像を目指し、各個人の目標を明確にしつつ、丁寧な育成を行えるよう個別の研修計画を作成するとより良いでしょう。

・実習受け入れに対する園の方針や実習生に向けた手引きなどを明文化しています。継続して行ってきた指導方法などをマニュアル化することで、指導方法の見直しが行えると共に担当職員の質をより高く標準化することが期待できるでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-3 運営の透明性の確保	II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b	b
		22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	a
[自由記述欄]					
<p>・入園のしおりや園だよりなどを通して保育の理念や基本方針、保育内容などを公表しています。法人役員会などで策定された予算、決算情報や定款はインターネットを通じて情報公開を行っており、園の玄関にも自由に閲覧できるよう置かれています。園独自のHPを作成予定のことですが、近隣の公的機関などに園の情報を記載したリーフレットを置くなど、広く様々な方法で園の活動内容を周知できれば、より良いでしょう。</p> <p>・公認会計士による経理指導を受けたり、年1回の法人監査を行ったり等、適切な経営・運営を行うために努めています。</p>					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-4 地域との交流、地域貢献	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	b
		24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	b
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	a
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a	a
		27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a	a
[自由記述欄]					
<p>・コロナ禍の間は実施できていませんが、例年夏祭りを開催し、卒園児や保護者、地域の方を招いたり、地域の敬老会など催しに参加したりしています。月2回の園庭開放や部屋の開放など、2022年度より順次再開を計画しています。また、地域の保育園や行政と連携した子育て応援イベントの「げんきっ広場」にも参画しています。地域における園の社会的役割への理解をより深めるため、地域に対する園の方針を明文化して公表するとより良いでしょう。</p> <p>・近隣の保育園や行政(はぐくみ室)、民生委員の方などと連携し、定期的に「げんきっひろば」「子育て講演」「地域クリスマス会」などの子育て支援事業に参画したり、地域の高齢者の会が実施する催しに参加するなど、コロナ禍以前から地域の福祉活動に積極的に参画しています。コロナ禍が収まりつつある現在、これらの催しを復活させる活動に取り組んでいます。</p> <p>・毎月の園庭開放や育児相談を行い、地域の未就園児やその保護者に居場所の提供を行っています。コロナ禍の中でも回数を制限しながら行っており、園の保有する機能をできる限り地域に還元するよう努めています。</p>					

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	b
		29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a	a
	Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	a
		31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	b
		32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	b

[自由記述欄]

・入所時に配布する「生活のしおり」などを通して、「子どもの思いを尊重する保育」への心がけを明文化し、職員はもとより保護者にも共通の理解を持って保育・育児に取り組めるよう発信しています。今後は、法人としての幹となるべき倫理要綱を策定し、大切にしている思想を明文化することで対外的にも明らかにしていくことが望まれます。

・子どものプライバシー保護マニュアルや個人情報保護マニュアルを作成し、職員会議等を通して共有がなされています。また、それらの取り組みに関しても「生活のしおり」を通して保護者に発信し、周知する取り組みを行っています。

・園の説明や見学に個別で丁寧な対応をされています。保育の開始、変更等についてはクラスだよりなどで保護者へ情報提供を行っています。保育所等の変更の際には、要録の送付などを保護者の希望を基に行っています。保育の終了後の相談方法について、重要事項説明書などの分かりやすい個別配布のものに記載しておくとなお良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(4) 利用者が意見を述べやすい体制が確保されている。	33	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	a
		34	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b	a
		35	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	b

[自由記述欄]

・年3回の三者協議会(京都市・保護者代表・法人)を通じて、保護者の意見を定期的に聞き取り、改善に努めています。相談窓口や第三者委員会を設置し、重要事項説明書や園生活のしおりに記載し、保護者に明示しています。相談窓口の連絡先を園内の分かり易いところに掲示したり、ご意見箱等の匿名性の高い意見収集の手段を増やすとより良いでしょう。

・周囲の目を気にせず話ができるよう、「りんごの部屋」という部屋を保護者との相談場所として確保しています。また、個別の育児相談の場としても活用しています。

・いただいたご意見に関しては、内容に応じたエスカレーションルートを通じて迅速に対応を行っています。また、年1回のアンケートや三者協議会で受けたご意見に関しても、内容に応じて回答を公表しつつ対処を行っています。それぞれの対応方法にルールはありますが、それらを明文化したマニュアルを作成すればより良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	36	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	b
		37	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	b
		38	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	a
		39	④ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a	b

[自由記述欄]

・ヒヤリハット等、日常に潜む危険に対して記録を残し、職員会議などで職員間での共有を図っています。記録からどのように改善し、どのような結果になったのかを後追し、改善策の継続性や他の環境構成に活かしていくような仕組みを構築するとより良いでしょう。

・事故、災害時のマニュアルを作成し、各保育室に緊急時の役割分担表やエスカレーションルートが掲示されています。緊急時を含めた連絡先一覧を作成し、各種情報がより周知、閲覧しやすい仕組みを策定したり、各種マニュアルの定期的な見直しを行い、更新された情報を迅速に共有できる仕組み作りに取り組まれるとより良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
					自己評価	第三者評価
Ⅲ-2 福祉サービスの質 の確保	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な 実施方法が確立している。	40	①	保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	c	b
		41	②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b	b
	Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉 サービス実施計画が策定されてい る。	42	①	アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a	b
		43	②	定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b	b
	Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に 行われている。	44	①	子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	a
		45	②	子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	b

[自由記述欄]

・各クラス複数担任で保育を行い、その中で保育を実地で伝えるOJT環境が整えられています。積み重ねてきた経験や民営化前の保育の実施方法などを文書化し、保育についての標準的な実施方法についてマニュアルを整備されれば、より良いでしょう。また、マニュアルの動画化など、より伝わりやすい手法を取り入れると良いでしょう。

・入園前にその児童の担当職員が聴き取りを行い、その後の保育に活かせるようにクラス毎の指導計画を策定しています。主任を責任者におき、職員会議や毎週月曜日に行う室長会議（クラスリーダー会議）の中で見直しを行っています。園全体の保育の繋がりをより明確にし、職員間で十分に認識を深めるためにも、全体的な計画も合わせて定期的な見直しを行うとより良いでしょう。

・子どもに関する記録などの個人情報は厳重に管理されています。定められたルールにおいて個人情報保護規程や、情報保護・管理のためのマニュアルを策定し、それらを基に職員への教育や研修を行うことでより一層の管理体制の強化が行えるでしょう。

A-1 保育内容

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(1) 全体的な計画の編成	46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を編成している。	a	b
	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	a
		48	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	a
		49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	a
		50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	a

[自由記述欄]

- ・全体的な計画は、民営化の際にそれまでの保育と新たな取組を掛け合わせたものを作成されています。職員の意見を集約しつつ定期的に振り返り、評価し、次の作成に活かすと良いでしょう。
- ・各保育室には子どもたちが自分のしたい遊びを楽しむことができるコーナー遊びの場があります。また、ゆったりとくつろげるスペースも確保されています。冬季には上靴の使用をされるなどの工夫により、子どもたちの活動の幅が広がるでしょう。
- ・「言葉を手渡す」を大切に、子どもの思いを中心に保育をしています。結果だけでなく、ものごとの過程に重きを置くよう努めています。
- ・子どもが保育園生活の中で基本的な生活習慣が身につくように発達に応じた援助をされています。急がせることなく子どもが主体的に習得できるように配慮されています。
- ・京都市営保育所からの保育方針が引き継がれています。空き箱などの素材が用意され、子どもたちの「やりたい」という気持ちを大切に保育を実施しています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	51	⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		52	⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		53	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		54	⑧ 障害のある子どもが安心して生活でき喜んで遊べる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		55	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	b
		56	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	a

[自由記述欄]

- ・担当制により家庭的な雰囲気大切に保育を行っています。特に給食の時は子どもの安定した食事時間になるよう、同じ職員が関わるように職員配置を工夫しています。
- ・子どもの思いを大切に保育を軸として、日々子どもへの関わりを持つよう心掛けています。例えば、着替えの時には「どの服を着る？」など細かくやり取りをすることで、子どもの意思を聴き取ると共に、表現する機会を増やせるよう努めています。
- ・「生きる力につながる保育」を意識して保育を行っています。子どもの興味関心を引き出しながら、年間を通し継続したテーマ保育を展開し、子ども自らが関心を深め、考える機会を設けられるように環境を構成しています。
- ・保育園で安心して過ごせるように、安らげる居場所を園内に作るよう努めています。保護者とも連携し、子どもが集団の中での育ちができるよう、個別の見守りを行うなど丁寧な保育環境作り、発達支援を行っています。
- ・18時以降は少人数でゆったりと過ごせるように、家庭的な雰囲気の中で保育を行うよう努めています。全日を通した保育をより意識するためにも、指導計画等の中に長時間保育についての位置づけをし、明文化すると良いでしょう。
- ・就学支援シートを活用するなど、就学先の小学校と連携をとるよう努めています。また、年長クラスでは保護者の就学への不安軽減や情報提供を丁寧に行うため、懇談会等で就学についての話を行っています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(3) 健康管理	57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	a
		58	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	a
		59	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	b
	A-1-(4) 食事	60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	a
		61	② 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a	a

[自由記述欄]

- ・年間保健計画を作成し、子どもの健康管理を行っています。低月齢児にはルクミー(午睡チェック用センサー&記録アプリ)を使用し、ICTを活用するとともに職員の間でも確認を行い、多角的に午睡時の安全を見守っています。
- ・健康診断・歯科健診に加えて歯科衛生士による歯の健康指導を行っています。
- ・個別対応が必要な子どもの情報が、職員間で共有されています。食物アレルギーのある子どもの食事は、アレルギー食券を使用して、間違いがないように工夫されています。今後はマニュアルに即した対応ができるよう、定期的な研修や職員同士の相互評価等を行うとより良いでしょう。
- ・給食の食材やその産地を紹介するなど、子どもの興味関心につながる工夫がなされています。給食の職員が食に関する話をしたり、クッキング保育も行っており、秋の味覚パーティは地域の交流の場にもなっています。
- ・和食を中心にした京都市作成の献立で給食を提供されています。室長と栄養士による給食会議で、子どもの喫食状況把握に努めています。

A-2 子育て支援

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	A-2-(1) 家庭との緊密な連携	62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	a
	A-2-(2) 保護者の支援	63	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	a
		64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	a
	A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)	65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b	b

[自由記述欄]

- ・ドキュメンテーションを作成し、一日の保育の様子を保護者に伝えています。乳児組は毎日の保育記録を使用して家庭と連携を取っており、全クラスで必要に応じて担任や管理者(園長・主任など)と面談ができるように備えています。
- ・子どもの興味関心があるものについて掲示物等で知らせています。また、絵本だよりの発行は保護者の絵本選びの参考になっています。活動の中で子どもが作った作品や絵を園内のいたるところに掲示し、保護者がいつでも見ることができる環境を整えています。
- ・虐待防止マニュアルに基づき対応されています。日ごろの生活の中で注意しながら子どもと保護者双方への援助を行っています。
- ・保育士等は年度末に保育を振り返り、自己評価をしています。保育士等の自己評価を保育の改善につなげる仕組み・取組に発展させるとなおいでしょう。